（報道資料）

平成 19 年１０月９日
ＮＨＫ広報局

3 作品決定！

アジア・ハイビジョン国際共同制作プロジェクト

TAP（The Asian Pitch）

アジアのドキュメンタリーを
アジアの公共放送局と制作者の手で
アジア、そして世界の視聴者に発信

ＮＨＫ などアジアの公共放送局３社が立ち上げた国際共同制作プロジェクト（ＴＡＰ）は、最終選考を行った結果、以下の 3 本の企画を決定しました。

○**The Mummy Theft from Toraja**
トラジャのミイラ盗り事情（インドネシア、Ninelives Pictures）
○**Subak　スバック～バリ島の里山～**（マレーシア、GS Productions）
○**Superman of Malegaon　マレガオンのスーパーマン**（インド、I-pot Films）

■　ＴＡＰとは

今年 6 月、公共放送局 3 社（ＮＨＫ、シンガポール・メディアコープ、韓国・ＫＢＳ）が、アジアの制作会社を対象にした国際共同制作プロジェクトを立ち上げました。ＮＨＫの呼びかけに対して、メディアコープとＫＢＳが応じたもので、アジアをテーマにしたドキュメンタリー企画を募集し、毎年４本程度のハイビジョン番組を国際共同制作します。

アジアで複数の公共放送局が協力して制作会社等から提案募集を行い、ドキュメンタリーを共同制作するのは、初めての試みです。

第１回の募集は１月から４月にかけて行い、９か国（※）から１１３本の番組企画が集まりました。企画書による一次審査で１６本程度まで絞り込み、７月１９、２０日の両日、シンガポールでこれらの制作者による提案プレゼンテーションを行って、最終選考の結果、今回、３本の企画を決定しました。完成は、来年４月頃を予定、各国での放送は、各局で編成を検討してそれぞれが行います。また、欧米のテレビ局に向けても売り込んでいく予定です。

４ 本目については、現在、複数の企画の開発を進めています。

今回の試みは、アジアの公共放送局が協力して、「アジアの制作者がアジアの視点で番組を制作し、放送する」場を作ることが目的です。また、参加している３社ともハイビジョン放送を推進していることから、ハイビジョン制作を原則としました。

※９か国：カンボジア、中国、インドネシア、インド、韓国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール

■　番組概要

●The Mummy Theft from Toraja　トラジャのミイラ盗り事情

（インドネシア、Ninelives Pictures）

３００以上もの多民族から成る国インドネシア。南スラウェシ州にあるトラジャという地域では、昔から独特の葬祭儀式を行う伝統がある。
死者はミイラとして数百年前から村の各所に安置され、現在も先祖への尊敬を表すために、莫大な費用をつぎこんで盛大な葬式を行う。家族や親類が死んだ時、できるだけ多くの水牛や雌豚を差し出さなければならず、その費用を負担するために莫大な借金をすることになるのだ。
トラジャでは、墓地からの窃盗が後を絶たない。古い副葬品だけでなくミイラ本体にまでおよび、それらは非常に高い値段で売られている。
実はこの盗みには、トラジャの村人も関わっている。先祖の葬式を出すために多額の借金を負い、ミイラ盗りになってしまった村人などをさまざまな人々を取り上げ、死をめぐる伝統文化とその現代事情を伝える。

●Subak　スバック　～バリ島の里山～　（マレーシア、GS Productions）

バリ島には、昔から棚田の水量を管理する農民自治組織があり、何世紀もの時を経た今も、ほぼ完璧な形のまま受け継がれている。そのシステムは「スバック」と呼ばれている。「スバック」の根本理念は調和である。構成員の合意により、植え付けの周期、水資源の分配、各人の出資金、権利、責任が決められる。スバックには、ヒンドゥー教の教え、「幸せの三要素」が大きく影響している。第一に、人々は隣人や同胞と調和を保たなければならない。第二に、人類は環境と調和しなければならない。第三に、人類は神と調和しなければならないのだ。
グローバル化の流れの中で、伝統的な精神が失われ、自然との調和が崩れている今、人々が調和を保ちながら生きていくにはどうすれば良いのかを、丹念に、また詩情豊かに描く。

●Superman of Malegaon　マレガオンのスーパーマン　（インド、I-pot Films）

マレガオンとは、インド西部のマハーラーシュトラ州にある、貧しくも明るいイスラム教徒の居住地域である。この街の若者たちが、ハリウッドとボリウッドを強烈に意識しながら、人気ハリウッド映画「スーパーマン」のパロディ映画を製作した。そこには、現代の世界やインド社会への痛烈な皮肉が込められている。これは、パロディ映画「マレガオンのスーパーマン」の制作過程を追ったドキュメンタリーだ。
この映画は、マレガオンの若者たちの厚かましさ、不屈の精神、革新力、抜け目なさを表している。彼らにとって映画制作とは、報酬目当ての仕事ではなく、商業的利益を至上とした活動でもない。マレガオンの経済状態は決して良いものではないが、それに逆らうかのように、収益無視で制作活動に没頭し、作品を完成させた。面白おかしくて、ほろ苦い、あるインドの若者たちの夢物語。

■　参加局

日本：　NHK（発起人）
シンガポール：メディアコープ（子会社のｶﾙﾃﾞｺｯﾄ･ﾌﾟﾛﾀﾞｸｼｮﾝが制作を担当）
韓国：　KBS
NHK とメディアコープは去年 11 月にプロジェクト開発に合意、KBS は今年５月に参加を決定。

■　制作分担・放送

放送局３社が、４本（現在は 3 本）の制作費を均等に分担。制作会社は、放送局と協議しながら制作。番組は英語で制作され、各国語版は各放送局が制作。超大型の番組を作るのではなく、アジアで標準的な６０分番組の予算を予定。